



Statistics

20110709=No. 32

< 男子 / 5000m >

- ・この種目でバーレーンが優勝したのは史上初で、同時に複数のメダルを獲ったのも初めて。
 - ・2位・佐藤悠基の13分40秒78も従来の大会記録を上回り、従来の日本人のアジア選手権での最高記録（13分54秒34）を14秒あまり上回った。
 - ・1～5位が、これまでの「順位別最高記録」を上回った。
 - ・バーレーンは、男女の5000mと10000mの長距離4種目を制し、この4種目に出場した全員が何らかのメダルを獲得した。
- ・7月9日の「Statistics」は、この「No.32」で終わりです。